

## 振 込 規 定

2018年10月9日現在

### 1. (適用範囲)

振込依頼書または当金庫の現金自動振込機（以下「ATM」といいます。）による当金庫または他の金融機関の国内本店にある受取人の預金口座あての振込については、この規定により取扱います。

### 2. (振込の依頼)

(1) 振込依頼書による振込の依頼は、次により取扱います。

- ① 振込の依頼は窓口営業時間内に受け付けます。
- ② 振込依頼書は、当金庫所定の振込依頼書を使用し、振込先の金融機関・店舗名、預金種目・口座番号、受取人名、振込金額、依頼人名、依頼人の住所・電話番号その他の所定の事項を正確に記入して下さい。
- ③ 当金庫は振込依頼書に記載された事項を依頼内容とします。

(2) ATMによる振込の依頼は、次により取扱います。

- ① ATMは当金庫所定の時間内に利用することができます。
- ② 1回あたりの振込金額は、当金庫所定の金額の範囲内とします。
- ③ ATMの画面表示等の操作手順に従って、振込先の金融機関・店舗名、預金種目・口座番号、振込金額、依頼人の電話番号その他の所定の事項を正確に入力してください。振込資金が現金の場合には、依頼人名も正確に入力してください。
- ④ 当金庫はATMに入力された事項を依頼内容とします。

### 3. (振込契約の成立)

- (1) 振込依頼書による場合には、振込契約は、当金庫が振込の依頼を承諾し、振込資金等を受領した時に成立するものとします。
- (2) ATMによる場合には、振込契約は、当金庫がコンピュータ・システムにより振込の依頼内容を確認し振込資金等の受領を確認した時に成立するものとします。
- (3) 前2項により振込契約が成立したときは、当金庫は、依頼内容を記載した振込金受取書、振込受付書または利用明細票（以下「振込資金受取書等」といいます）を交付しますので、依頼内容を確認してください。この振込資金受取書等は、契約の成立を証明する書類となりますので大切に保管してください。

### 4. (振込通知の発信)

- (1) 振込契約が成立した時は、当金庫は、依頼内容にもとづいて、振込先の金融機関あてに次により振込通知を発信します。
  - ① 電信扱いの場合には、依頼日当日に振込通知を発信します。ただし、窓口営業時間終了間際、振込事務の繁忙日等やむを得ない事由がある場合には、依頼日の翌営業日に振込通知を発信することがあります。
  - ② 文書扱いの場合には、依頼日以後3営業日以内に振込通知を発信します。
- (2) 窓口営業時間終了後および信用金庫休業日の当金庫所定の時間内にATMによる電信扱いの振込の依頼を受け付けた場合には、前項の規定にかかわらず、依頼日の当日に振込通知を発信します。ただし、振込先の金融機関の状況等により、依頼日の翌営業日に振込通知を発信することもあります。

### 5. (証券類による振込)

当金庫の本支店および当金庫以外の金融機関にある受取人の預金口座への振込の依頼を受ける場合には、小切手そ

の他の証券類による振込資金等の受入れはしません。

### 6. (取引内容の照会等)

- (1) 受取人の預金口座に振込金の入金が行われていない場合には、速やかに取扱店に照会して下さい。この場合には、振込先の金融機関に照会するなどの調査をし、その結果を報告します。
- (2) 当金庫が発信した振込通知について振込先の金融機関から照会があった場合には、依頼内容について照会することがあります。この場合には、速やかに回答して下さい。当金庫からの照会に対して、相当の期間内に回答がなかった場合または不適切な回答があった場合には、これによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。
- (3) 入金口座なし等の事由により振込資金が返却された場合には、速やかに通知致しますので、第8条に規定する組戻しの手続に準じて、振込資金の受領等の手続をとってください。

ただし、預金口座からの振替による振込の場合は、上記の通知後、第8条に規定する「振込（組戻・訂正）依頼書」および振込資金受取書等の提出を受けることなく、振込資金を払い出した口座に入金します。

上記の場合、振込手数料は返却しません。

### 7. (依頼内容の変更)

- (1) 振込契約の成立後にその内容を変更する場合には、取扱店の窓口において次の訂正の手続により取扱います。ただし、振込先の金融機関・店舗名および振込金額を訂正する場合には、第8条第1項に規定する組戻しの手続により取扱います。
  - ① 訂正の依頼にあたっては、当金庫所定の「振込（組戻・訂正）依頼書」に記名押印のうえ、振込資金受取書等とともに提出してください。この場合、当金庫所定の本人確認資料または保証人を求めることがあります。

② 当金庫は、「振込（組戻・訂正）依頼書」に従って、訂正依頼電文を振込先の金融機関に発信します。

(2) 提出された振込金受取書等を当金庫が交付したものであると相当の注意をもって認めた上、その訂正依頼電文を振込先の金融機関に発信した時は、これによって生じた損害については当金庫は責任を負いません。

(3) 第1項の場合において、振込先の金融機関がすでに振込通知を受信しているときは、訂正ができないことがあります。この場合には、受取人との間で協議してください。

#### 8. (組戻し)

(1) 振込契約の成立後にその依頼を取りやめる場合には、取扱店の窓口において次の組戻しの手続きにより取扱います。

① 組戻しの依頼にあたっては、当金庫所定の「振込（組戻・訂正）依頼書」に記名押印のうえ、振込資金受取書等とともに提出して下さい。この場合、当金庫所定の本人確認資料または保証人を求めることがあります。

② 当金庫は、「振込（組戻・訂正）依頼書」に従って、組戻依頼電文を振込先の金融機関に発信します。

③ 組戻しされた振込資金は、振込資金受取書等と引替えに返却します。この場合、当金庫所定の本人確認資料または保証人を求めることがあります。

(2) 前項の組戻しの取扱いおよび組戻しされた振込資金の返却については、前7条2項の規定を準用します。

(3) 第1項の場合において、振込先の金融機関がすでに振込通知を受信している時は、組戻しができないことがあります。この場合には、受取人との間で協議してください。

#### 9. (通知・照会の連絡先)

(1) この取引について依頼人に通知・照会をする場合には、振込の依頼にあたって記載・入力された住所・電話番号または振込資金等を振替えた預金口座について届出のあ

った住所・電話番号を連絡先とします。

(2) 前項において、連絡先の記載の不備・誤入力または電話の不通等によって通知・照会をすることができなくても、これによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

#### 10. (手数料)

(1) 振込の受付にあたっては、当金庫所定の振込手数料をいただきます。

(2) 組戻しの受付にあたっては、当金庫所定の組戻手数料をいただきます。この場合、前項の振込手数料は返却致しません。ただし、組戻しができなかったときは、組戻手数料はいただきません。

(3) 組戻しされた振込資金により改めて振込の受付をするときは、改めて当金庫所定の振込手数料をいただきます。

(4) この取引について、特別の依頼により要した費用は、別途いただきます。

#### 11. (災害等による免責)

次の各号の事由により振込金の入金不能、入金遅延等があっても、これによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

① 災害・事変、輸送途中の事故、裁判所等公的機関の措置等のやむを得ない事由があった時。

② 当金庫または金融機関の共同システムの運営体が相当の安全対策を講じたにもかかわらず、端末機、通信回線、またはコンピュータ等に障害が生じた時。

③ 当金庫以外の金融機関の責に帰すべき事由があった時。

#### 12. (譲渡、質入れの禁止)

振込資金受取書等およびこの取引にもとづく依頼人の権利は、譲渡、質入れすることはできません。

#### 13. (預金規定等の適用)

振込資金等を預金口座から振替えて振込の依頼をする場

合における預金の払戻しについては、関係する預金規定およびカード規定により取扱います。

#### 14. (規定の変更)

この規定は、当金庫所定の方法で公表することにより、変更することができるものとします。

以上